

【学位論文内容要旨】

本論では、ルソン島北部イフガオ州ハパオ村の収穫儀礼 綱引きブンノックの復活の事例と、イフガオ州の高校教師を対象とした聞き書き演劇ワークショップの事例を文化の教育資源化として捉え、身体を通じた伝統的知識の継承が、世界文化遺産である棚田の持続可能性に寄与する資源化になるのか、また持続可能性を構築する資本形成につながるかを提示する。

1995年にユネスコ世界文化遺産に登録されたコーディリエラ棚田群は、ルソン島北部山岳地域のイフガオ州に広がり、2000年以上前からイフガオ民族の伝統的農耕儀礼社会が形成されてきたと言われる。しかし、近年のグローバル経済の急速な浸透により若者の海外への出稼ぎや都市部への流出などにより、伝統的農耕儀礼社会は変容を余儀なくしている。棚田を営むための伝統的知識の継承と後継者問題が大きな課題とされ、世界文化遺産の大棚田群は持続可能性の危機に直面している。

地球環境問題を語るに際して、持続可能性 (Sustainability) という言葉が使われるようになって久しい。持続可能性が初めて社会に認知されたのは、1987年「国連環境と開発に関する委員会 (通称：ブルントラント委員会)」が出した報告書で持続可能な開発が人類の課題として取り上げられたことによる。そこで持続可能な開発とは、将来世代のニーズに応える能力を損ねることなく、現在世代のニーズを満たす開発と定義された。

開発途上国と先進国間では、先住民族居住地区での天然資源の持続可能な開発と利用が大きな課題とされてきた。一方、先住民族の生活様式の近代化やグローバル経済の浸透により、先住民族居住地区から都市部などへの人の流出と高齢化も課題とされている。それによって地域共同体としての機能が衰退し、伝統的な営みによる持続可能性は、喪失またはその危機に直面している。このような状況にあって、地域共同体の次世代を担う人材を育成するために、いかにして文化を活用していくのか、どのような理論と実践が求められるかを、資源化と資本の概念を用いながら、フィリピンの事例をもとに検証する。

本論では、ルソン島北部山岳地域ハパオ村での収穫儀礼の復活と聞き書き演劇の実践の二つ事例を取り上げる。ハパオ村は、ルソン島北部コーディリエラ山岳地域にあるイフガオ州フンドゥアン郡に属し、大棚田群が広がる。広大な大棚田群を維持するために、特有な農耕儀礼社会が形成されてきた。地形の急峻さなど地理的要因もあり、スペイン植民地時代の影響も限定的となり、近年まで独自の農耕儀礼社会が継承されてきた。その中で綱引きブンノックも収穫儀礼として行われてきたが、様々なグローバリゼーションの影響を受け続け、中断、復活の過程を経た。1995年のコーディリエラ大棚田群の世界文化遺産登録を契機に、ハパオ村出身の先住民族リーダーと彼を師とする映像作家によるイフガオ伝統文化の復興運動によって、ブンノックは1999年に復活した。その結果、収穫儀礼ブンノックは、2015年のユネスコの無形文化遺産登録につながった。ブンノックの復活は、消失の危機に瀕していた伝統的知識である文化資源を、次世代に継承し得る教育のための資

源化プロセスとして見て取れる。一方、無形文化遺産登録により観光資源としての側面も大きく広がり、新たな課題も孕んできた。ハパオ村にとって他者である映像作家が関与し、教育のために資源化したプンノックは、国家や地方自治体も加わり、様々なアクターによる資源化の対象になっていく。

コーディリエラ棚田群は、近年のグローバル経済の急速な浸透により若者の海外への出稼ぎや都市部への流出などにより伝統的農耕儀礼社会は変容を余儀なくされ、後継者不足と耕作放棄地の増加が大きな課題とされている。その中で、イフガオ州の高校教師を対象とした聞き書き演劇ワークショップは、「演劇ワークショップでアジアの農村をつなぐ―青少年を対象とする環境問題をテーマとした演劇交流事業」の一環として行われた。本事業は、2018年度から2年間のプロジェクトとして、東ティモール、フィリピン、日本における世界農業遺産の地域または申請地域で高校生を対象とした演劇の実践と交流が計画されている。ここでの聞き書き演劇とは、聞き書きを用いて地域の農業に関係する人たちの話を聞き、その言葉をもとに演劇創作を行う。創作した作品の発表を通じて、各地域の高校生たちの相互間で伝統的農業の抱える課題を共有し、高校生たちの新しい気づきの場になることを目的とした教育演劇である。フィリピンでのプロジェクトは、環境NGO「コーディリエラ・グリーン・ネットワーク (CGN)」が教育省イフガオ州事務所の協力を得て、事業実施団体として運営に携わった。

収穫儀礼プンノックの復活と、農村の日々の暮らしを対象とする聞き書き演劇の事例を対比し、相互の関係性を明らかにし、地域の持続可能性に寄与しうる文化の資源化と文化資本とは何かを提示する。

以 上